

看護職員の負担の軽減および処遇の改善に対する計画書

(目的)

1. 看護職員の負担軽減及び処遇改善委員会（以下「委員会」という。）
は、看護職員の負担軽減及び処遇の改善に努め、労働環境の改善
を図ることを目的とする。

病床規模：193床 看護職員合計99名+作業療法士1名（認知症治療病棟専属）

看護師：常勤37名・非常勤7名

准看護師：常勤27名・非常勤4名

看護補助者：常勤19名・非常勤3名

項目	計画	実行	評価
育児休業（0名） 育児短時間就労〔2名〕 産休（1名） 介護休業（0名）	<ul style="list-style-type: none"> 多様な勤務形態の取り入れ 夜勤の免除 短時間勤務 夜勤3人体制（2F） 	雇用確保 適切な人員配置 常勤・非常勤採用 2F・4Fで3人 夜勤体制	4F夜勤3人体制をR5.10～開始 看護職員数減のためR6.6で終了
業務	<ul style="list-style-type: none"> 看護補助者の業務の明確化 看護補助の業務拡大 師長研修会 看護補助者の増員 他職種との業務分担 残業0を目指す 	研修会参加 メッセージャー 院外研修会参加 雇用募集 チーム医療の推進	
夜勤業務	<ul style="list-style-type: none"> 準夜～日勤の勤務は作らない 負担のない夜勤勤務作成 確実な休憩時間の確保 救急輪番日負担軽減 看護補助者の夜勤サポート 負担病棟の軽減 2交替 夜勤3人体制（2F） 	勤務表監査 同上 交代勤務 夜勤専従の導入 2・4F（3人体制） 遅出1名増員 配置転換にて 夜勤看護補助者増員	
身体合併症	<ul style="list-style-type: none"> 専門性の高い疾病は 専門病院へ転院 	本人と家族へ入院時 に意向確認 家族との連携	